

今回は“ふるさと福井”の情報を皆さんにお知らせ！！

響くつち音

北陸新幹線の敦賀開業が 2022 年度末に予定されており、現在県内各地で工事が本格化している。工事の計画が認可された後 2015 年 3 月に着手した。工事の現状の一部を紹介する。

最も難工事の一つが、九頭竜川を渡る橋脚工事である。夜になると福井市中藤新保町付近の九頭竜川左岸側がぱっと明るくなる。北陸新幹線の日も早い県内開業を見据え、全長 414 メートルの九頭竜川橋の工事が昼夜を問わずに行われている。新幹線専用橋と県道橋の橋脚を一体的に整備するのは全国で初めての計画で、橋脚の中央部に新幹線の専用橋を、その両側に上下線の県道橋を架ける構造である為、橋脚の幅はなんと 33.6 メートルもの広さで、従来の新幹線単独の橋脚の 11.7 メートルに比べると、幅は実に 3 倍もの広さである。

九頭竜川右岸側の工事が、今年 10 月から開始されることになっており、橋台 1 基と橋脚 3 基を整備し、来年 10 月から橋げたの架設を本格化させる。左右両岸の橋脚が一本につながるのは、2019 年 6 月頃の見込みである。

(福井新聞の記事を抜粋する)



▲夜間も行われている九頭竜川橋の橋脚工事のようす

▼完成した九頭竜川橋のイメージ図です



福井、岐阜両知事が目標 国要請で連携合意



両県のアクセス向上について話し合う、古田岐阜県知事(左)と西川知事(右) 22日、敦賀市金ヶ崎町の敦賀観光ホテル(杉本哲大撮影)

冠山峠道 22年度開通を

福井県の西川知事と、岐阜県の古田知事が、4月22日に会談された。

会場は、敦賀市内であった。

会談では、両県の交通アクセス向上についての話し合いで、福井市池田町と、岐阜県揖斐川町を結ぶ国道417号冠山峠道路について、2022年度までの完成を目指し、ともに国へ要請活動を行っていくことで合意した。

冠山峠道路の完成によって両県の交流が急速に深まり、さらに中部縦貫自動車道の、大野一油坂間の22年度までの開通により、観光や、物流、経済交流に重要な役割を果たす。特にその沿線には、大本山永平寺、恐竜博物館、白川郷、数々の温泉地など、日本を代表する観光資源が点在している。

広域観光の受け皿整備に、両県が連携を強化することで一致した。

会談に先立ち、西川知事と古田知事が敦賀ムゼウムや赤レンガ倉庫を視察した。岐阜県八百津町出身の外交官で、多くのユダヤ人難民に「命のビザ」を発行した杉原千畝氏と、敦賀市との縁を生かし、両県の小中学生の交流事業に取り組むことで一致した。

岐阜県八百津町の、杉原資料記念館や、人道の港敦賀ムゼウム館など、杉原氏のゆかりの施設を、両県の学生が訪ねることが教育の一環として、大変意義深いことである。

(福井新聞の記事を抜粋する)



敦賀ムゼウムの館内を視察する古田岐阜県知事(左)と西川知事=22日、敦賀市金ヶ崎町(杉本哲大撮影)

福井、岐阜

「命のビザ」縁に交流へ

両知事合意 小中生が相互視察

若き外交官「杉原千畝」の英断と「人道の港、敦賀」の人達の慈悲行とは??

1939年（昭和14年）、ナチスドイツ軍はポーランドに侵攻します。ナチスから迫害を受けたユダヤ人達は隣国リトアニアに逃れ、日本領事館に救いを求めました。そこには40歳の若き外交官、杉原さんが赴任していました。

領事館前にはたくさんの難民が押しよせます。この人達に日本国を通過できるビザを発給すれば、ウラジオストックを経由して、たくさんの人が助かるのですが、日本国はビザの発給を許可しませんでした。

ここで杉原さんが決断します。「この世に人命より重いものがあるか」と、日本国の命令に反してビザの発給を開始します。ビザを手にした難民たちは急ぎシベリア鉄道でウラジオストックへと逃れますが、そこでは無情にもこのビザは、日本国が許可したビザではないので無効であること理由に、日本への渡航の許可は下りませんでした。

途方にくれる難民に、ここでも人道に燃える若き外交官、根井三郎さんが立ち上がり、日本国の指示に逆らい、難民達に渡航を許可します。

難民達は、歓喜の涙で敦賀港に上陸します。

言葉は通じず逃亡で疲れ果て、汚れ、全く無一文になってしまった難民たちを、敦賀の人たちが、それこそ親身になってお風呂に入れたり、食事など、お世話したのです。その様子は、涙なしには語れない尊い慈悲行でした。

人呼んで「人道の港・敦賀」です。

福井県にはこんなに素晴らしい人、慈愛の心、そして港の街があったのです。

現在敦賀には、この時の難民達と市民との友愛を紹介した「敦賀ムゼウム」の名の資料館があります。まだの人は是非お訪ね下さい。

若き外交官の杉原さん、根井さんは、共にハルピン学院で学び、学院の教えで「自治の三訣」を身上とした人でした。

その教えとは??

- 1つ、人のお世話にならぬよう。
- 2つ、人のお世話をするよう。
- 3つ、そして報いを求めぬよう。

でありました。教えられることが多いようです。

(福井新聞への寄稿文を参考にまとめる)

株式会社 ライファ弥生

〒422-8006

静岡市駿河区曲金一丁目10-22

TEL 054-283-6692

FAX 054-286-8690

- ・タニダ建築設計事務所・住宅リフォーム歴35年
 - ・建設工事一般・耐震対策・暮らしのお手伝い
- ホームページは「リフォーム弥生」で検索して下さい

代表取締役 谷田昭夫 ふくいブランド大使



代表取締役

山下 光男

Mitsuhiro Yamashita (鯖江市出身)

有限会社 福井化工

〒421-0114 静岡市駿河区柘原町6番10号

Tel. 054-257-1714 Fax. 054-260-4124

Mobile : 090-3449-4490

WEB : <http://www.fukui-kakou.jp>

福井県高浜町の「若狭和田海水浴場」が4月14日、安全や環境保全などの基準を満たした海岸に与えられる国際環境認証「ブルーフラッグ」をアジアで初めて取得した。厳しい国際審査で認められたのです。

同認証を取得しているのは、現在約50ヶ国、約4千の海水浴場(ビーチ)などが取得している。

若狭和田海水浴場は、環境省の「快水浴場百選」に選定されております。

地元では、「この和田ビーチが、世界が認める日本のビーチの第1号となったことをチャンスとして、世界基準の海水浴場であることをアピールして、観光客の呼び込みにつなげたい」と、町民らが快挙を祝った。

(福井新聞の記事を抜粋する)



福井県では、福井市や越前町、南越前町にまたがる越前海岸の越前水仙群について、国の「重要文化的景観」への選定を目指す方針を明らかにした。同景観は文化財の一つで、生活や風土に深く結

びついており、特に貴重な文化的景観であるとしている。

県では、新年度から越前水仙の栽培状況などの事前調査に着手し、2020年頃の選定を目指したいとしている。

(福井新聞の記事を抜粋する)



昨年来より幾度となく協議を重ねてきました懸案の、静岡県内で組織化されている各県人会が集い、相互に交流を図る為の協議会を組織する案件について、漸くその会則がまとまり、主な役員メンバーも決定しました。

これに参加する各県人会は、次の四つの県人会であります。

福井県人会、石川県人会、富山県人会、新潟県人会

(尚、滋賀、福岡の両県人会は、会としての組織途上である為に、それが成立後に参加される予定です。)

主要な条文の一部を、以下に紹介させていただきます。

第1条 (名称) 本会は、「静岡各県人会協議会」と称する。

第2条 (目的) 本会は、故郷を離れ、郷土の伝統的な気質を持ち、静岡県民となった人達を会員として、相互の親睦並びに人格の向上を図り、それぞれの故郷との交流を深め、もって郷土の発展に努め、併せて、静岡県の更なる発展のため、県内それぞれの地域、分野において積極的に協力し、貢献することを目的とする。

第4条 (事業) 本会は、その目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 各県人会の会員相互の交流会開催
- (2) 各県人会との情報の交換
- (3) その他必要な事業

第7条 (役員) 本会に、次の役員を置く。(次の通り決定する。任期2年)

会 長	武長 敏彦 (福井)	副会長	高橋 栄 (新潟)
副会長	宮崎 久雄 (富山)	事務局次長	小林 健 (福井)
事務局長	高津 道夫 (新潟)	会計監査	— (新潟)
会 計	内田 文江 (福井)	幹 事	小柳 文典 (新潟)
幹 事	菊野 耕一 (石川)	幹 事	小柳 文典 (新潟)
幹 事	駒見 太郎 (富山)	相談役	松谷 清 (新潟)
相談役	谷田 昭夫 (福井)	相談役	松谷 清 (新潟)

以上が主要な内容であります。全体総会は来年6月中旬頃に開催の予定で、各県人会から約20名位の方が参加して、四つの県人会の会員相互の交流、親睦を図る為の良い機会と捉え、来年から毎年開催することにしております。

行事のご報告

去る5月27日にゴルフ同好会の仲間による今年度初のゴルフを久しぶりに行いました。その日は2組だけのゴルフとなりました。

場所は、沼津の愛鷹山地にある沼津国際CCでした。

前々日から降り続けていた雨も、その日の朝になってやっとあがってくれて、一同よかったなあ—でしたが、その為湿気が凄いむし暑さでした。

皆さん、久しぶりの顔合わせでスタート前のしばらくはゴルフ談議で、これも又楽しいひと時なのです。

このゴルフ場は、皆さん初めてで、どのホールも先のグリーンが殆ど見えないなかをスタ

ートしていきました。前半は左右曲がりの多いコースに手を焼き、後半は、打ち上げが多いタフなコースで苦闘しましたが、それでも皆さん汗をかきながらも楽しくプレーできて、満足した一日でした。

今回は、10月頃に中部地区で行いますので、大勢の参加を待っています。

今後の行事予定を、お知らせします。

その1. 中部地区グループによるバーベキュー会のご案内！！

連日の真夏の暑さからしばし逃れ、ひと時の涼を求めて藁科川上流の山あい川沿いの場所で、皆さんと一緒にバーベキューを楽しみたいと企画しましたので、なるべく大勢の参加をお待ちしています。

- ①日 時 9月25日(日)
- ②集合場所 JR 静岡駅南口 スルガ銀行前 10:30集合
- ③会場 ファミリー民宿 朝比奈(藤枝市岡部町宮島388-1)
- ④会費 4,000円程度
- ⑤申込〆切 8月末
- ⑥申込み先 代表幹事 山下光男 電話 054-346-8668
中村正明 電話 054-628-0544
谷田昭夫 電話 090-7917-9582

★ご家族、友人、知人大歓迎！！

その2. 西部地区グループによる「女城主、伊井直虎」を追って！！

来年の大河ドラマ「直虎」に遠州ゆかりの地を巡るコースを企画しました。

- ①日 時 10月23日(日)
- 詳しくは、後日はがきにて連絡します。

平成28年度 年会費納入者のご報告

今年度の年会費(3,000円)の納金者のご報告で、本年5月発行の会報に記載したあとに繰り込まれた方々を掲載しました。(7/14現在です)

この会報掲載を以って領収書に替えさせていただきます。有難うございました。

平成28年度会費納入者(敬称は省略いたします)

大久保昌彦 大嶋政春 太田太 岡崎登喜雄 尾武英信 上田憲 川上幸雄
川野澄江 窪田直和 窪田靖子 小金山万亀子 澤本明男 島田晴美
鈴木昭夫 関俊幸 田村昌興 中井弘和 奈良修三 林与志男 深水實 南弘
茂木光子 森永泰信 吉田真也 吉田典昭 山路喜春 藁科保

【訃報】

7/31に会員の大久保昌彦さん(福井市出身)が肺癌の為76歳で逝去されました。会長名と会員一同で弔電をうたせて頂きました。